

# 平成26年度 事務事業マネジメントシート

事業名	インターネット議会中継システム事業				会計	款	項目	大	小
					01	01	01	03	53
政策	06	公・民パートナーシップによる構想実現と効率的、効果的行政運営（行政の充実）			主管課	議会事務局			
施策	6-2	健全で効率的な行政運営			主管課長	竹内 繁教			

## I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市民	意図	市民に開かれた市議会の実現に向けて、更なる情報公開と情報の共有化に努める。
事業内容	本会議の様様を、インターネットによって、ライブ中継及び録画配信することによって、直接、傍聴に來られない市民の皆さんに議会の情報を迅速に発信し、議会活動への参加、理解を推進することができる。			
事業開始から現在までの状況変化	議会の結果および意見等は直接議会の傍聴するか、会議録が作成されるまで公表する機会がなかった。インターネット中継にて配信することにより、自宅において会議を視聴することができ、さらに会議内容をより迅速に市民に対して知らせることが可能となった。 平成26年12月よりタブレット端末、スマートフォンに対応した。			

## II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	本会議・臨時会開催日数	25	25	25	日	→→
②							
③							
④							
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 本会議におけるインターネットによるライブ中継と録画配信及び議会運営委員会、各常任委員会、特別委員会におけるUSTREAM中継、録画配信を実施している。
事務事業のコスト		平成24年度	平成25年度	平成26年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		7,720,033	7,015,600	7,356,337			
事業費(b)(円)		1,977,633	2,124,700	2,519,851			
うち一般財源		1,977,633	2,124,700	2,519,851			
職員給与費(c)(円)		5,742,400	4,890,900	4,836,486			
人役・職員(人)		0.80	0.70	0.70			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

## III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

### (1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

### (2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H26)の改善計画	議会フロアの通信環境の改善、中継に利用する機器（パソコン）の更新を行う。	③取り組みの課題	年度の途中から無料であったUSTREAMの利用が有料化された。委員会の様子を配信することを重視し、有料化に対応することとした。
②今年度(H26)に実施した取り組み	USTREAM中継に使用する通信回線を光回線に変更し、機器（パソコン）を新たなものに更新した。	④今後の改善計画	2年連続して担当する職員に異動があったので、マニュアル等に基づきシステムに習熟する研修を行う。